座談会・議会常任委員会のしくみとその仕事

教材・教具の充実と ほしい老人ホーム

教育民生常任委員会 しくみとその仕事

いままで議会の総務、建設常任委員会のもっている役割りといったものについて、それぞれの委員の方たちとはなし合いをもち紹介してまいりましたが、こんどは、人づくりやくらしの面に活躍する教育民生常任委員会について、スポットを当ててみました。

▼工費が多くかかるところはできてないところもある。しかし学校と保育所はみちがえる面もできている。陳情や請願が多くある。

▼児童、生徒の机腰掛などの教具は、子供たちの伸長度に対して注意がゆきとどいていない。施設のことでも、視聴覚については、ある程度充実してきているが、全般に通じて気を付けるべき面がある。

▼感じることは、地区によって学校の施設、設備その他においても違いがある。予算が少ないため、父兄に負担がかかっているようだ。父兄の熱心なところというか、裕福なところの学校は充実している。

国の方でいま少し手を入れてほしいものだ。教科書の無償配布は実施されてはいるが……

▼現在市では、北陵中の充実、南部小と前浜小の統合などに金がいっている。市予算の四十若が民生費で、教育費はわずか二十若に過ぎない。しかもその内容は、学校経営の骨格面に重点がかかっていて、教具などの設備の内容充実の面に少ない。

教育厚生常任委員会

委員長	浜田 健夫	橋田 信夫
副委員長	八井内 茂実	島村 正雄
委員	沢田 武一	竹田 広実
〃	山崎 清重	

▼民生費は、生活保護の占める経費が多い。また、保育所の施設が他の市にくらべて多く、私立のものはわずか一つにすぎない。

▼ところで保育所そのものは充実しており、それに勤務する職員も施設数に応じて多い。これらの職員の給与について、学校教員のように国の義務において支出してもらうようにしてもらいたいものだ。

▼保育所、学校などの施設が多いことは、人件費、その他の経費に相当予算が食われている。小さな保育所や、学校などの統合は考えなければならない。

市政を圧迫する 自立更生への指導を

生活保護

▼乳児保育の声が高くなっており考えなければならないが、乳児問題を別として、幼児については考え直すべき時期がきている。児童、生徒の送迎にバスを利用しているところもある。

▼ただ、効率化をはかるための統合ということであればいろいろ問題もあるだろう。真剣に検討すべきだ。

▼とかく教育費などは、国の財政に頼り過ぎて一般財源からの投資が少ない。効果が目に見えないため、ものは削りやすく、投資されない嫌いがある。しかし民生関係に対する財政の負担は大きい。

▼高知県は宮崎県とともに生保家庭が増加している。若い労働力が少なく、中高年令層の仕事は増えたといってもその仕事場が少ないためである。

▼生活保護の問題は……市といっても毛の生えたようなところは町村のように国、県が責任においてみるべきでないか。国に返上し、国でやってもらうべきだ。

▼人口十万までの市は市といえたものではない。市であることにより財政は非常な圧迫を受けている。市という対面を捨てれば市の負担する経費を他へ廻すことができる。

▼社会福祉の面においても、専従者を置かなければならない。しかし、窪川町などには県費で置かれることになっている。十万以下の都市でも、法人化されたものには県費の補助をもらいたいものだ。

▼生活費の援助はもとより考えなければならないが、それよりも更生に導くことが本質であるべきだ。しかしそれができていないようだ。

▼生活に困った、病気をしたから貧うという安易な考えのものが多い。指導によって、本人の自分の力で立ち直る意欲をもたすことだ、そのためには病気を直し職をあたえることが大切だ。

議会 常任委員会の

▼生産機関との結びつきというものを作っておくべきである。自己の生活を保持し、経済力をつけるために三十四年と三十八年に野中地区の実態について、病気、仕事、進学率や困窮の原因度合などを調査した結果、福祉教員を全国にさきがけて配置してもらい、不就学児童をなくすることができた。

▼就学の際、差別などの障害により未就労者ができる。失対事業へゆきたいという人々がいまでも多いという実態は、それを物語っている。

▼国では未就労者をなくするために、中高年令者を対象とした就労促進措置法を三十九年から実施しており、自動車運転技術の習得などに力をつくしている。

▼積極的に仕事につけるべきだが、何割かは体に欠カンがありなかなかよい仕事につけない。

出稼ぎの状態が多く、生保への転落が見られ、三十八年の調査で増加していることは、自立更生への指導が

▼身分保障のないことにも問題がある。共同作業所の授産事業としての手袋や編物などは一万円以上の月収を上げており、下着の加工作業も実施している。この作業は始め三カ月は見習いで、そのごは請負制度で歩合給となり健保など社会保障がない。

これらの作業は、地区の三分の二といわれるボーダライン層の生活向上のためのものである。

▼ところが作業所へくる必要のないような人たちに希望者が多い。更生しなければならない人たちの指導が大切である。

▼学校のことでも同じで、話し合いをしなければならない父兄は学校によりつかないということである。環境によって人をつくるが、もののみ方、考え方をつくる社会学級の浸透はむつかしい。しかし、福祉館の活動によって変わってくるだろう。

▼社会教育を充実し公民館活動を活発にすることにより是正されるが、車の両輪だといわれている社会教育を文部省は重くみていないし、力を入れていないようである。

▼学校教育と違って社会教育はむつかしいが大切なことだ。すてるべきではないが、財政面の裏付けがなく、住民に受け取り方がすすんでいない。生活様式にも問題がある。

人づくりには まず指導者を

▼効果的な活動をするためには人づくりが大切であり、とくにその中心人物や指導者を得ることが必要だ。

老人クラブの活動が活発になってきたのはよいことだ。

▼市に老人ホームをつくるべきである。統合される南部小学校はまだ新しいし老人ホームなどに活用してはどうだろう。空気もよく、環境もよい絶好の場所だ。

▼学校へ屋内体育館などの設備をしているが、毎日必要な机、いすなどへ力をいれなければならないではないか……。

▼高知県は雨の多い地方であるから、屋内体育館は必要だ。現在は補助行政であるから、補助金のつくものからまず第一ということになっている。補助金が市財政への負担になっている。しかし、その他の面でもしだいによくなってゆくことだろう。

座談会・議会常任委員会のしくみとその仕事

毎月20日は 献血デー です。

血液型の判定もできます。